

園芸用殺菌剤

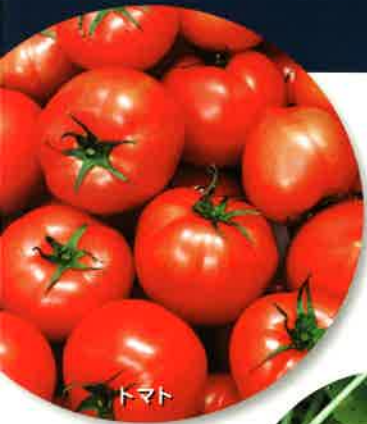
カッパーシン

水和剤

常備薬



農林水産省登録 第15744号



野菜・茶・果樹など さまざま な作物の 病害防除に!!

特長

- ①.『塩基性塩化銅』と『カスガマイシン』の混合剤で安定した効果が期待できます。
- ②.2つの有効成分の働きにより、糸状菌および細菌による多くの病害に対して優れた効果を示します。

●有効成分

●塩基性塩化銅	75.6%
〔銅として〕	45.0%
●カスガマイシン—塩酸塩	5.7%
〔カスガマイシンとして〕	5.0%

- 毒性 — 普通物(毒劇物に該当しないものを指すいう通称)
- 包装 — 100g/500g

meiji Meiji Seika ファルマ

園芸用
殺菌剤

カッパーション水和剤

適用病害と使用方法

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用時期	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数
かんきつ (みかんを除く)	かいよう病	1000倍	収穫45日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
みかん			収穫7日前まで				
なし	黒星病	500倍	収穫後 (10月~11月)	-	2回以内	散布	2回以内
もも	せん孔細菌病 縮葉病		開花前まで				
びわ	灰斑病 がんしゅ病	1000倍	幼果期まで	-	3回以内	散布	3回以内
キウイフルーツ	かいよう病 花腐細菌病	500倍	休眠期				
			発芽後養生期 (新梢長約10cm)まで				
いんげんまめ	かさ枯病	-	収穫30日前まで	-	3回以内	散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内)
きゅうり	斑点細菌病 うどんこ病 べと病		収穫前日まで				
すいか	うどんこ病 褐斑細菌病 果実汚斑細菌病	1000倍	収穫3日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
メロン	うどんこ病 斑点細菌病 果実汚斑細菌病		収穫前日まで				
トマト	葉かび病 輪紋病、疫病 斑点細菌病 かいよう病 軟腐病	-	収穫7日前まで	-	4回以内	散布	4回以内
ピーマン	うどんこ病 斑点細菌病 斑点病		収穫21日前まで				
キャベツ	黒腐病、軟腐病	-	収穫7日前まで	-	3回以内	散布	3回以内
ブロッコリー	黒腐病		収穫14日前まで				
だいこん	軟腐病 黒斑細菌病 ワッカ症	-	収穫7日前まで	-	2回以内	散布	2回以内
ねぎ	軟腐病		収穫14日前まで				
たまねぎ	軟腐病	-	収穫7日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
ごぼう	黒斑細菌病		収穫21日前まで				
セルリー	斑点病、軟腐病	-	収穫7日前まで	-	3回以内	散布	3回以内
レタス	腐敗病 斑点細菌病		収穫21日前まで				
非結球レタス	黒腐病	-	収穫14日前まで	-	3回以内	散布	3回以内
なばな	黒腐病		収穫14日前まで				
にんにく	春腐病	-	収穫14日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
ばれいしょ	軟腐病		500~800倍				
てんさい	疫病	800倍	収穫7日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
	褐斑病	800~1000倍					
	斑点病 斑点細菌病	200倍					
あずき	褐斑細菌病 茎腐細菌病	-	収穫30日前まで	-	3回以内	散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内)
にんじん	黒葉枯病 軟腐病		収穫14日前まで				
オクラ	葉枯細菌病	-	収穫7日前まで	-	3回以内	散布	3回以内
メキャベツ	黒腐病		収穫21日前まで				
とうがらし類	うどんこ病 斑点細菌病 斑点病	1000倍	収穫14日前まで	-	5回以内	散布	5回以内
茶	輪斑病 赤焼病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) 褐色円星病 炭疽病		摘採30日前まで				
ばら	うどんこ病	-	発病初期	-	6回以内	散布	6回以内
ほおずき	軟腐病 斑点細菌病						
ゆり	軟腐病						

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤、チオファネートメチル剤との混用はさけてください。
- 本剤は無機の銅を含むため、うり類、レタス、非結球レタス、だいこんに対して薬害を生ずるおそれがあるので、下記の事項に十分注意してください。
 - 幼苗期又は生育の初期は特に生じやすいので中期以降の散布にしてください。
 - 高温時の散布は症状が激しくなることがあるのでさけてください。
 - 連続散布すると葉の周辺が黄化したりすることがあるので過度の連用をさけてください。
 - 炭酸カルシウム剤の所定量の添加は、薬害軽減に有効であるが、収穫間際は収穫物に汚れを生ずるので留意してください。
- てんさいに使用する場合は、薬害を生ずるおそれがあるので所定の希釈倍数を厳守してください。特に高温時には薬害を生じやすいので朝夕の涼しい時に所定範囲の低濃度で使用してください。
- ばらに使用する場合は、葉に散布液の汚れが残ることがあるので注意してください。
- かんきつに使用する場合は薬害(スタメラノーズ)の発生を防止するために、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実の着生期の使用では厳守してください。
- ピーマンのうどんこ病防除に使用する場合は、発病後の散布は効果が劣るので、初発生をみたら直ちに散布してください。
- 核果類(ももを除く)、れんこん、白菜等には薬害を生ずるおそれがあるのでかからないように注意して散布してください。
- キャベツに使用する場合は、品種、作型により薬害を生ずるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- いんげんまめ及びあずきに使用する場合は、高温時の散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけてください。
- 発芽後のキウイフルーツに使用する場合は、葉に軽い薬害を生ずることがありますが、実用上の問題はありません。但し、使用時期が遅くなると葉や果梗に実害を生ずるので使用時期を厳守してください。
- びわに使用する場合は、果実に薬害を生ずるおそれがあるので、幼果期(果実の横径約1cm)以降の散布はさけてください。
- ももに使用する場合は、開花前までに使用してください。開花期以降は銅による薬害が生じることがあるので散布しないでください。
- ブロッコリーに使用する場合は、生育抑制や葉縁の黄白化等の薬害を生じるおそれがあるので、所定の希釈倍数を厳守してください。
- にんにくに使用する場合は、葉に薬害を生ずることがあるので、高温時(6月以降)の多数回散布は避けてください。
- てんさいに対して希釈倍数200倍(使用液量250/10a)で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した兼用型の地上液剤散布装置を使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- ① 使用前にラベルをよく読んでください。
- ② ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ③ 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。

meiji Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/